

(3) ライフサイクルコストの低減
Ⅲ①施設の耐久性向上

高耐久性の塗装を採用し、鋼橋のライフサイクルコストを低減

中部支社 名古屋工事事務所 名古屋南高架橋（鋼上部工）東工事

【施策の概要】

鋼橋の塗装は、一般的な環境では下塗りを工場で、上塗りは桁架設後に現場で行っており、A塗装系を採用していました。この塗装系は8～10年で塗装を塗り替える必要があり、上塗り時や塗装塗り替え時の現場塗装において、必要な足場等の準備工に多くの時間やコストを要する問題がありました。

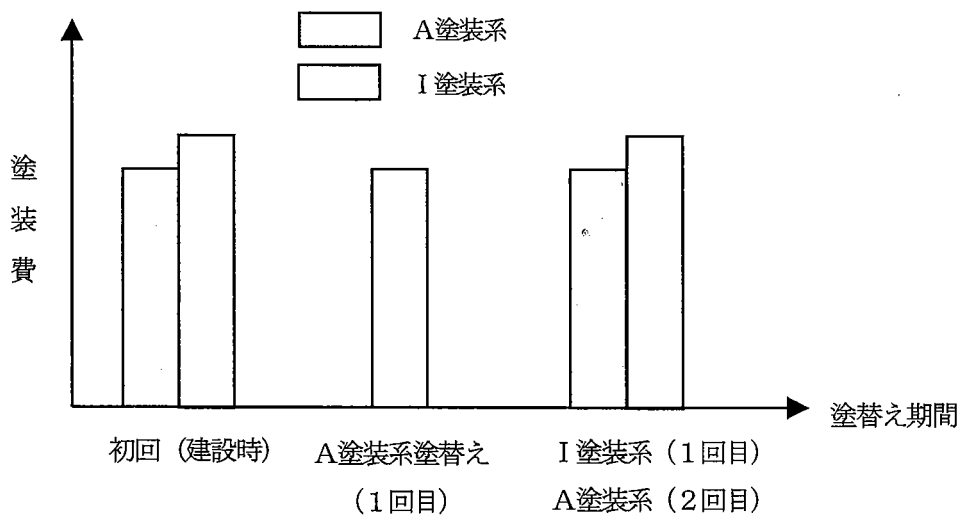
本工事においては、下塗りと上塗りの双方を工場で行うこととし、また塗装系も耐久性の高いI塗装系を採用します。

これにより、現場での施工を容易にするとともに、塗り替え塗装間隔の延伸を図ることができます。

【施策のポイント】

- ・ 従来現場にて行っていた上塗り塗装を工場で実施することにより、現場における作業の簡略化を図ることができます。
- ・ A塗装系は8～10年のサイクルで塗り替えが必要ですが、I塗装系は13～15年のサイクルに延伸する事ができます。これにより、ライフサイクルコストの低減を図ることが可能となります。

【施策の実施状況・イメージ図】



上記に加え、

中国支社 松江工事事務所 斐伊川橋（鋼上部工）工事

東京建設局 浦和工事事務所 栄高架橋（鋼上部工）南工事等 計71件

において鋼橋の塗装系をI塗装系に変更し、ライフサイクルコストの低減を図ります。